

デーリー東北

2022年(令和4年)9月7日(水曜日) (16)

インドの風習や文化紹介

染織物研究・カウール博士 八工大で講演

八戸



インドでの研究について紹介するマニート・カウール博士

インド在住で伝統的な染織物を専門とするマニート・カウール博士の講演が8月30日、八戸工業大で行われた。大学で南部菱刺しの研究をする学生や菱刺しの制作者が、インドの生地や衣服に関する風習などについて学んだ。

菱刺しを研究する川守田礼子准教授が指導を担当する研究室「菱刺しラボ」が主催。カウール博士は日本の刺し子などについて調査するため、日本財団と石橋財団の助成で来日した。八戸市には菱刺しについて調

べるために訪れ、講義を行うことになった。

カウール博士は、インドでは女性が身に着ける物に家族の仕事や財産にまつわるモチーフがあらわれること、農業に従事する一家では祖母、母、孫の3世代が、布の上に自分たちが働く畑を再現する風習があることなど、現地特有の文化を紹介した。

同市で菱刺しの代表的な作品となる「前垂れ」を見たというカウール博士。まるで八戸の情景が表れているかのような美しさだった」と地域の手仕事に感心していた。(小林彩乃)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。